

解説

■**地域高規格道路**とは…高規格幹線道路網（例えば高速道路等）と一体となって高速交通体系の役割を果たし、地域構造を強化する規格の高い道路です。通勤圏域の拡大や都市と農山村地域との連帯の強化、物資の流通、人の交流の活発化を促す機能を有する。規格は、自動車専用道路もしくは同等の高い規格を有する。



建設中の東北横断自動車道 釜石・秋田線

質問

「スポーツ交流のまち奥州市」の実現をめざし、大学などの合宿誘致に積極的に取り組んではいかがでしょうか。

ホッケーの町として知られる岩

障害者自立支援制度について



あきら 明
すがわら 原
議員

質問

障害者自立支援法の施行で応益負担が導入され、利用者が負担できない、施設の経営が困難になるといふ事態が予想されます。実態を調査し、市独自の負担軽減策を講ずるべきです。また、小規模作業所への補助が打ち切られた後の地域活動支援センターの事業をどう進めるか伺います。

手町では、昨年から首都圏の大学にダイレクトメールを送付しながらの合宿誘致作戦を展開しており、当市においても大いに参考にすべきと考えます。また、大学誘致の検討が今後進められますが、アンケートを取るなども有効ではないかと考えますが伺いたいします。

市長

岩手町の合宿誘致など地域の活性化策も参考になります。大学誘致との関連において、今年度から全国の大学にアンケートの意向調査を行う際に合宿についても取り入れることで相乗効果を期待できるのかなと思います。今後予算等との関係もあり、教育委員会とも連携を取りながら、積極的に検討して参ります。

市長

新たに発生した負担の軽減について検討中です。相談支援事業、日常生活用具給付などの事業は、現行水準を維持できるように地域生活支援事業に位置づけられた事業も引き続き実施します。低所得者層の負担軽減措置については条例改正を提案しています。

質問

十月から六段階の障害程度区分の認定結果に基づき支給される福祉サービスを下させないための見解を伺います。

市長

障害者程度区分認定については、現行の福祉サービス内容が大きく後退しないよう、今後認定調査事務、支給決定事務に取り組んでまいります。

質問

衣川保育所の移転後、そこに精神障害者小規模作業所「衣



衣川健康福祉センター内の「衣川工房」

川工房」の移転をという家族会からの要望の実現を求めます。

市長

法人化を促進し、施設の有効利用の観点で早めに保育所の跡地利用について結論をだします。

質問

検診を受けやすい輸送手段を。通勤者が市内どこの病院でも検診できるように。衣川区の検診料アップの経緯を伺います。

市長

市民サービスの均一化、負担の公平性に留意し、合併協定項目にもとづいて実施しています。

○経営安定対策の要件緩和について
○市政、振興会等懇談会について
○本庁組織の充実について



いしかわ かずよし
石川 和好
議員

質問

十九年度から始まる品目横断的経営安定対策は集落営農組織に課せられる要件があまりにも厳しい。要件緩和を国、県に要請すべきではないか。

市長

県に対し地理的条件にかるセンサス上の集落単位の特例処置を申請し認められた。これにより面積が全国平均より下回っても加入できることとなった。さらに検討していきたい。

質問

各区で開催された市政懇談会、各地区振興会等との懇談会でいろいろな話題があったと思いますが、合併による混乱、不安な